

様式1

平成25年度 年度 事業評価書

評価対象期間	平成25年4月～平成26年3月分
施設名	鳥取市因幡万葉歴史館
指定管理者名	公益財団法人 鳥取市文化財団
指定管理期間	平成24年4月1日～平成28年3月31日
施設所管課名	鳥取市教育委員会文化財課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	聞き取り	業務手順書がある。毎朝ミーティング、月1回会議を行い、事業の進捗・企画・情報共有をしている。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞き取り	職員のおもてなし研修のほか英語・韓国語の研修を行った。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	4	4	聞き取り 書類確認	アンケート調査結果等の意見も集約してまとめられており、見える化されている。
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	4	聞き取り	小中学校に博物館を授業の一環として活用していただく「博学連携事業」を同館が中心となって県東部へ案内し、とりまとめを行っている。また、同館学芸員自らも小学校へ出かけ、出前授業を行った。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞き取り 書類確認	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	毎月会議において、アンケート調査結果や寄せられた意見について協議し、対応している。
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	聞き取り	民俗館を利用した市民作品の展示や映像館を利用した万葉講座の開催、民間の補助金を活用した事業創設等、利用の拡大に努力している。また、全国万葉会に加入し、全国的なネットワークも構築している。
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞き取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	聞き取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	4	3	聞き取り	請書、完了届に基づき現場チェックを必ず行っている。
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞き取り	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	4	聞き取り	経費節減努力はもとより、喫茶営業でも事業収入確保に努めている。
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り	個人情報は目的外に使用しないこととし、データは厳重に管理している。
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	

V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞き取り HP確認	
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	2	聞き取り	アンケート調査結果を施設で公開していない。
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	聞き取り	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	聞き取り	マニュアルを整備し、職員間で共有している。

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	指定管理料・入館料・補助金・その他の収入の範囲内で活動を行っているため、経営状況に問題はない。入館者数は目標を8.47%、入館料34.75%上回った。
施設所管課	7施設の指定管理施設を管理している指定管理者では、平成25年度単年度で合計1,200万円の剰余金が出ており、また、前年度までにも多額の剰余金があり、経営状況は問題ない。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	企画展示・イベント・市民ギャラリー・各種講座・カルチャー教室・万葉衣装試着体験・物品販売・喫茶等、施設の積極的活用を図り、利用者の増加に努めた。
施設所管課	万葉衣装試着体験、喫茶、物品販売等により、施設の付加価値が高まっているし、カルチャー教室や講座の開催も意欲的に行われている。また、同館が鳥取市文化財団が管理する指定管理施設博学連携事業のとりまとめや小学校等への案内もやっていることから、教育文化施設としての貢献度が高い。

4. 総括コメント

指定管理者	25年度は、企画展示(野田ふさえ生誕100年記念 初秋の風・漫画家安彦良和～古代因幡へのまなざし～)・清末忠人剥製コレクション展「ザ・鳥」を実施した。有料入館者数は入館者数と比較すると少ない。企画展、講演会、講座、イベント並びにカルチャー教室などの実施事業は成果を得ている。特に、カルチャー教室は年間180回・1,911人の参加があり、希望者が定員を超える講座がある(ボタニカルアート・健康ヨーガ。)また、教育普及事業やイベント事業その他(因幡万葉歴史館万葉集朗唱の会実行委員会事務局事業・国府町因幡の傘踊り保存会出演依頼取次窓口事業・ボランティアガイド依頼取次事業窓口事業・国府ネットワーク案内広場の維持管理事業)に積極的に取り組み、地域の方々の関心を繋いできた。一方、除草や植木の剪定等のボランティアの参加者が少なくなっている。全体を通して広報宣伝の工夫をするとともに募集活動にも重点を置く必要がある。施設の維持管理については、20年の経年による劣化が激しくなってきた。年次計画をたて修繕を行い、快適・安全な施設の管理運営に努めてきた。常設展示においては開館当初から比較すると展示物の解説用PCやTVがなくなっていたり、ジオラマが故障していたりしている。常設展で顧客満足度を得るために、リニューアルをする必要があると考えている
施設所管課	平成6年の開館から20年経過し、空調設備や展示関連設備等に不具合が出ているが、早期改修が必要なものは年次的に改修を行う。常設展示については、国史跡栃本廃寺跡、重要文化財旧美敷水源地下水道施設及び国史跡鳥取藩主池田家墓所などが国府地域に所在するので、これらの内容を展示に加えることも考えられる。

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている